

八雲発！「道産サーモン」に挑戦



写真はイメージです



北海道八雲町は、

サーモン試験養殖事業に挑戦しています！

八雲町は日本で唯一、太平洋と日本海の二つの海を持つまちです。近年、太平洋側の八雲地域では、養殖ホタテが原因不明の大量死に直面しており、日本海側の熊石地域では、主力魚種であるイカやスケトウダラ、秋サケの不振が続き、漁獲量が大幅に減少しており、漁業を取り巻く環境は厳しさを増しております。

漁業経営の安定並びに地域の活性化を図ることを目的に、漁協と連携した新たな取り組みとして、輸入が大半を占める、回転すしなどのネタとして人気のトラウトサーモンを養殖し、北海道初となる「道産サーモン」の事業化を目指します。

漁業経営
の安定



漁業振興
地域の活性化

北海道ブランドの確立を目指します！



八雲町長
岩村 克詔

お問い合わせ先

日本で唯一二つの海を持つ町 八雲町

八雲町 熊石総合支所 産業課

〒043-0415 北海道二海郡八雲町熊石根崎町116番地
TEL: 01398-2-3111
E-mail: sangyo@town.yakumo.lg.jp
ホームページ: <https://www.town.yakumo.lg.jp>

八雲町は東を太平洋、西を日本海に挟まれ農業・漁業ともに恵まれた立地です。



写真はイメージです

北海道^{ふたみ}二海サーモン試験養殖

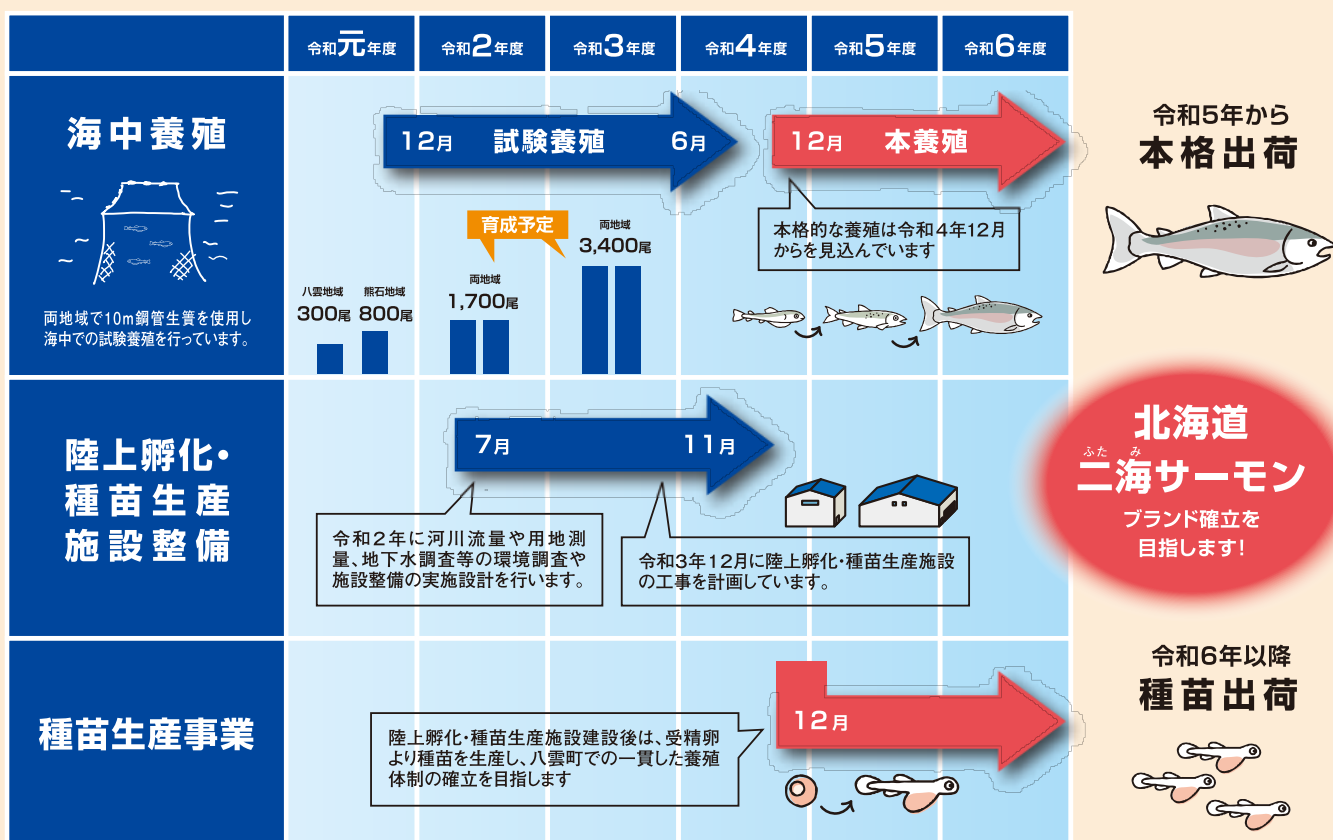
現在、八雲町では、トラウトサーモンの本格的な養殖に向けた試験を行っており、令和元年12月に800g程度のサーモン種苗を海中に設置した生簀に入れ、約7か月間飼育し3.0kg以上にまで成長した成魚の生産を目指しています。

令和2年度は、サーモン種苗を生産するため、淡水での孵化・種苗生産施設の整備に向け、河川環境調査及び施設の実施設設計等を行う予定です。

令和3年度には、孵化・種苗生産施設整備工事に着手し、令和6年11月にはサーモン種苗の出荷が可能となるよう事業を推進します。

将来的には、熊石地域において受精卵孵化から種苗生産を行い、日本海と太平洋の二つの海で育てたサーモンを「北海道^{ふたみ}二海サーモン」の名称でブランドの確立を目指します。

八雲町サーモン養殖事業計画スケジュール(予定)



令和元年度 試験養殖状況 (令和元年12月 海中養殖開始)

- ▶ 施設規模
生簀1基
(10m鋼管枠、深さ3m)
- ▶ 魚種及び数量
トラウトサーモン 800尾



日本海
熊石地域
(熊石漁港内)

太平洋
八雲地域
(落部漁港東野地区)

- ▶ 施設規模
生簀1基
(10m鋼管枠、深さ3m)
- ▶ 魚種及び数量
トラウトサーモン 300尾